

The Record 2019

vol.714

May 5



The Record 2019.5 vol.714

平成を振り返る - 後編 -

第85回RIAJセミナー「新入社員合同研修会・懇親会」開催

香港アジア・ポップミュージックフェスティバル2019開催

5

May

CONTENTS

1 Monthly News Digest

特集

3 平成を振り返る ー後編ー

特報

9 第85回RIAJセミナー「新入社員合同研修会・懇親会」開催

11 香港アジア・ポップミュージックフェスティバル2019開催

12 私の一枚 season 2

13 Monthly Production Report

14 GOLD DISC

Monthly News Digest

2/12 Tuesday

発信者情報開示請求訴訟において違法アップローダーの氏名等の開示を命じる判決下る

2月12日、東京地方裁判所はインターネットサービスプロバイダ「ソフトバンク株式会社」に対し、ファイル共有ソフト「Share」および「BitTorrent」を利用してインターネット上に大量の音楽ファイル（以下、「音源」という）を継続して違法にアップロードしている4つのIPアドレス利用者の氏名、住所等（以下、「発信者情報」という）を音源の権利を有する当協会会員レコード会社に開示するように命じる判決を下した（2月27日判決確定）。

本件は、当協会会員レコード会社がインターネットサービスプロバイダ14社を対象に、自らが権利を有する音源をファイル共有ソフト「Share」および「BitTorrent」を利用して許諾なくアップロード（公開）している者に対し、著作権隣接権（送信可能化権）侵害に係る損害賠償請求等を行うため、「プロバイダ責任制限法」第4条1項に基づき26のIPアドレスを利用してインターネットに接続していた者の氏名、住所および電子メールアドレスの開示を昨年7月より求めていたもの。そのうち19のIPアドレスについては任意に発信者情報が開示されたが、ソフトバンク株式会社が同社のサービスを利用する4つのIPアドレスに

ついて発信者情報の開示に応じなかったため、昨年12月、当協会会員レコード会社が東京地方裁判所に発信者情報開示請求訴訟を提起していた。

当協会会員レコード会社は2013年から2017年までの5年間に、ファイル共有ソフトを利用して音源を違法にアップロードしていた130名について、インターネットサービスプロバイダに対して発信者情報開示請求を行った。その結果、97名は訴訟によらず発信者情報が開示され、任意に開示されない場合には発信者情報の開示を命ずる判決を得て、最終的に全件発信者情報が開示されている。

なお、当協会会員レコード会社は開示された発信者情報に基づき、代理人弁護士を通じて違法アップローダーとの間で「今後著作権侵害をしない旨の誓約」および「損害賠償金の支払い」に関する協議を随時進めている。

当協会および当協会会員レコード会社は、音楽配信市場の健全な発展とこのような著作権法違反行為の撲滅のため、今後もファイル共有ソフト等を利用した権利侵害行為への対応を積極的に進める。

3/27 ~ 31 Wednesday Sunday

全日本学生児童発明くふう展 で真正品、模倣品・海賊版 を展示

3月27日～31日の期間、東京都千代田区の科学技術館にて公益社団法人発明協会主催の「第77回全日本学生児童発明くふう展」が開催され、同会場内の併催展示として、「ホンモノ？ニセモノ？君はわかるかな？」と題した真正品、模倣品・海賊版などに関する展示説明が行われた。

「全日本学生児童発明くふう展」は、子どもたちにモノづくりを通じて創作の喜びや発明くふうの楽しさを知ってもらい、



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です

その創造性を育むことを目的に毎年開催されている。本展示は、これにあわせて関係機関・企業の協力を得て行っているもので、当協会は音楽CD・DVDの真正品と模倣品の提供を行った。

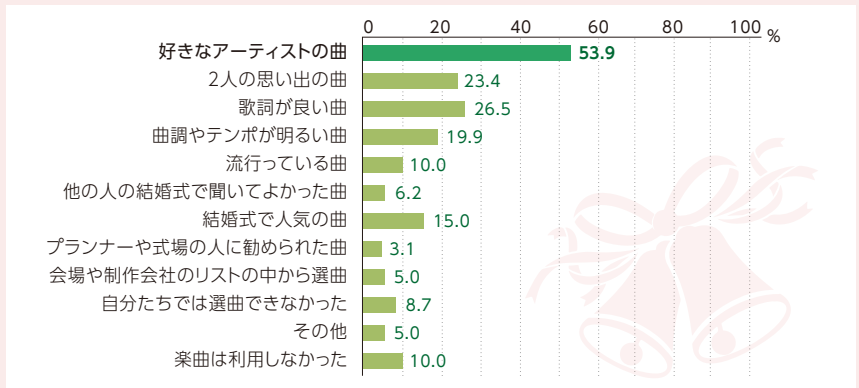
期間中は親子連れ、学生など多くの来場者が訪れ、熱心にホンモノ・ニセモノを見比べるなど興味深く観察している様子が多々見受けられ、大変盛況な展示会となった。



ISUMブライダルシーンにおける音楽に関する調査結果を発表

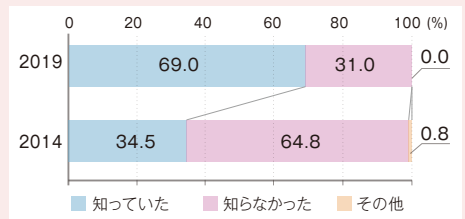
一般社団法人音楽特定利用促進機構 (ISUM) は、ブライダルシーンで使われている音楽に関する調査を実施した。調査対象は、20代から40代の3年以内に披露宴を開催したことのある新郎新婦400人で、同機構がブライダル音楽の著作権・著作隣接権処理システムの運用を開始した2014年以来5年ぶりの調査となった。以下では調査結果抜粋を紹介する。

Q.披露宴の「映像演出」で利用した楽曲は、どのような理由・方法で選曲しましたか。選曲のポイントを教えてください。(複数回答) ※本項目は2019年のみ調査



Q.披露宴で利用するために楽曲をコピーして、CD・DVD等を作成する際、著作権・著作隣接権の権利者の許可を得たり、手続をする必要がありますが、そのことはご存知でしたか。

※「プロフィールムービーでの楽曲利用」「披露宴の録画」「利用したいBGMをまとめたCDの作成」の際は権利者の許可や手続きが必要です。



▶その他項目も含め、調査結果の詳細はISUMのサイトを参照 <https://isum.or.jp/>

Coming Next Artists シーズン2情報

音楽ナタリー内では、新たに以下の特集記事が公開中です。是非ご覧ください。

ディスクレビュー

Iri
「Shade」
(JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント)
レビュアー:KYNE

▶Coming Next Artists シーズン2(音楽ナタリー内)
<https://natalie.mu/music/pp/comingnextartists02>



会員社のお知らせ

■社名変更(4月1日付)

<正会員>
新社名:
株式会社よしもとミュージック
旧社名:
株式会社よしもとミュージックエンタテインメント

<賛助会員>

新社名:
株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ
旧社名:
株式会社ソニー・ミュージックマーケティング

■移転(5月7日付)

社 名:株式会社ポニーキャニオン
新 住 所:〒106-8487 東京都港区六本木1-5-17
新電話番号:03-6230-9700(代表)

当協会役員人事

■新任(4月26日付)

[監事] 楠木 紳市
株式会社ドリーミュージック 代表取締役社長

■退任(4月15日付)

[監事] 三浦 剛史
株式会社ドリーミュージック 代表取締役社長CEO

音楽著作権啓発ツールリニューアルのお知らせ

当協会が配布する中高生向け音楽著作権啓発ツールをリニューアルしました。ご購入の際は、広報グループまでご連絡ください。



◀音楽著作権啓発パンフレット
▼エルマーク絆創膏



平成を振り返る -後編-

4月1日の新元号公表から1か月。5月1日、いよいよ新たな時代「令和」がスタートした。今号では、4月号からの2号連続企画として、平成30年間に起こった様々な出来事について年ごとに順を追って紹介する。

RIAJ 日本レコード協会のできごと **できごと** 音楽業界のできごと **NEWS** その年の世相を表すニュース  特出すべきムーブメントなど

※本文に登場する氏名、団体名、アーティスト名は全て当時のもの。流行語はユーキャン、ベストセラーはトーハン、映画は日本映画製作者連盟調べ

平成元年 | 1989

第4回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽** サザンオールスターズ
- 洋楽** マドンナ
- 新人** X (エックス)

- RIAJ** ▶ 3月 ゴールドアルバム等認定(現ゴールドディスク認定)作品公表開始
- できごと** ▶ 美空ひばり逝去、女性初の国民栄誉賞受賞
▶ 日本が著作権隣接権条約に加入
- NEWS** ▶ ベルリンの壁崩壊
▶ ゲームボーイ発売
▶ 東芝が世界初ノートパソコン「ダイナブック」発売
▶ レコードを含む物品税廃止、消費税導入(3%)
▶ NHK衛星放送(BSアナログ)の本放送スタート
▶ 流行語部門金賞:オバタリアン/オバタリアン(旋風)

国際標準レコーディングコード(ISRC)

ISRCは、オーディオおよびオーディオビジュアルのレコーディングを国際的に一義的に識別管理することを目的として、平成元年に国際規格(ISO 3901)として制定され、日本においても平成4年に日本工業規格(JIS X 0308)が制定された。当協会は日本における国内ISRC登録管理機関である。

平成2年 | 1990

第5回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽** 松任谷由実
- 洋楽** マドンナ
- 新人** たま

- RIAJ** ▶ 4月 高山会長就任(V)
- できごと** ▶ 外資系大型レコード店「ヴァージン・メガストア」
「HMV渋谷」開店
▶ ポール・マッカートニー初来日公演
▶ ローリング・ストーンズ初来日公演
- NEWS** ▶ 東西ドイツ、45年ぶりに統一
▶ 黒澤明・米国アカデミー賞特別名誉賞受賞
▶ 新語部門表現賞:アッシーくん

ハイセンスな都市型ムーブメント「渋谷系」

1990年代初頭から中旬にかけてピチカート・ファイヴやフリッパーズ・ギターなど、ファッション、ジャケ写やアー写に見られるグラフィックデザイン、映画や文学からインスパイアされた歌詞やキャッチをセンスよく取り入れた都市型アーティストが登場。「渋谷系」と呼ばれるムーブメントを起こした。彼らの台頭の背景にはジャンルを超えた陳列法で新しいレコード棚を提示したHMV渋谷の存



「SWEET PIZZICATO FIVE」ピチカート・ファイヴ

在も大きい。モノがあふれるバブル期で「何を選び、どう組み合わせるかカッコいいものとして提示するか」。そんなセルフプロデュース力を生かした編集的カルチャーだったとも言える。

平成3年 | 1991

第6回日本ゴールドディスク大賞


- 邦楽** CHAGE & ASKA
- 洋楽** ガンズ・アンド・ローゼズ
- 新人** Mi-ke

- できごと** ▶ フレディ・マーキュリー逝去
- NEWS** ▶ バブル崩壊
▶ ソビエト崩壊、ロシアに
▶ 新東京都庁舎が落成
▶ 湾岸戦争勃発
▶ ベストセラー:『Santa Fe/宮沢りえ』(篠山紀信著)

平成4年 | 1992

第7回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽** CHAGE & ASKA
- 洋楽** マドンナ
- 新人** 小野正利

- RIAJ** ▶ 1月 当協会英文名称決定、
ロゴマーク制定 
- ▶ 4月 乙骨会長就任(TO)
- ▶ 4月 日本レコード協会設立50周年
- ▶ 4月 大学で寄附講座を開講
- ▶ 11月 第1回廃盤セール開催
- できごと** ▶ 日本レコード商業組合設立
▶ MD発売開始
▶ 尾崎豊逝去
- NEWS** ▶ 「NTTTドコモ」誕生
▶ 新幹線「のぞみ」運行開始
▶ ハウス腾ボス開業
▶ 流行語大賞:きんさん・ぎんさん

寄附講座を青山学院・早稲田の2大学で開講

平成4年4月、レコード協会50周年記念事業の一環として、大学での著作権法講座が青山学院・早稲田の2大学にて開設された。この記念事業は、レコード業界をはじめ、映像・放送・エンタメなど幅広い分野で必要とされている著作権についての知識を身に付けた人材の育成と著作権思想の普及を目的として計画されたもの。青山学院では「レコードと法」(担当:法学部半田教授)、早稲田では「著作権法と技術メディアの発展」(担当:法学部土井教授)をテーマに、各界の第一人者の方々に講師に招いて講座が進められた。これまで7大学で実施しており、本年は電気通信大学で3年目の開設となる。

1989年
1990年
1991年
1992年
1993年
1994年
1995年
1996年
1997年
1998年
1999年
2000年
2001年
2002年
2003年
2004年
2005年
2006年
2007年
2008年
2009年
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年
2019年

平成5年 | 1993

第8回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 WANDS
洋楽 ザ・ビートルズ
新人 trf

- できごと** ▶ 「私的録音録画補償金制度」発足、社団法人 私的録音補償金管理協会(sarah)設立
▶ 財団法人音楽産業・文化振興財団(現JMCE)設立
▶ 実演家著作権隣接権センター(芸団協CPRA)設立

- NEWS** ▶ 神奈川県に日本初のシネコンが誕生
▶ レインボーブリッジ開通
▶ サッカー Jリーグ開幕
▶ 映画(興行収入1位):『ジュラシック・パーク』

バンドブームの隆盛

BOØWY、ザ・ブルーハーツなど1980年代半ば頃から邦楽シーンのメインストリームに浮上したロックバンドは、平成元年のテレビ番組『三宅裕二のいかすバンド天国』(イカ天)も追い風となり大ブームを巻き起こした。また、ヴィジュアル系に代表される個性的な一群も現れた。平成11年にはGLAYが幕張メッセ駐車場で行われた屋外ライブに20万人を動員し、社会的なニュースとなった。ソウルミュージックを始めジャンルが多様化した平成にあって、大型ロックフェスティバルが全国的に開催される他、アニメ『けいおん!』では、かつては校則で禁止された高校生のバンド活動が日常的シーンとして描かれたように世間に浸透。ロックバンドは今もシーンの主役に座っている。

平成6年 | 1994

第9回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 trf
洋楽 マライア・キャリー
新人 藤谷美和子

- RIAJ** ▶ 4月 Q盤キャンペーン開始
▶ 4月 松尾会長就任(SME)

- できごと** ▶ 音楽番組「HEY!HEY!HEY!」放送開始

- NEWS** ▶ 「セガサターン」「プレイステーション」発売
▶ 関西国際空港開港
▶ 松本サリン事件
▶ 流行語大賞:同情するならカネをくれ

平成7年 | 1995

第10回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 trf
洋楽 マライア・キャリー
新人 MY LITTLE LOVER

- RIAJ** ▶ 9月 事務所を銀座へ移転

- できごと** ▶ タワーレコード渋谷店(現在地に)移転

- NEWS** ▶ PHS販売開始
▶ Microsoft「Windows 95」日本版発売
▶ 阪神・淡路大震災発生
▶ 地下鉄サリン事件
▶ ゆりかもめ開業
▶ 「プリント倶楽部」(プリクラ)登場
▶ 流行語大賞:無党派

平成8年 | 1996

第11回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 安室奈美恵
洋楽 ミー・アンド・マイ
新人 PUFFY

- RIAJ** ▶ 4月 高野会長就任(C)

- できごと** ▶ 「うたばん」放送開始
▶ 「アムラー」現象

- NEWS** ▶ 「ヤフージャパン」サービス開始
▶ 国内初のDVDビデオソフト発売
▶ クローン羊「ドリー」誕生
▶ 「たまごっち」発売
▶ 映画(興行収入1位):『ミッション・インポッシブル』

平成9年 | 1997

第12回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 GLAY
洋楽 セリーヌ・ディオーン
新人 小松未歩/反町隆史/DA PUMP/広末涼子/松たか子

- RIAJ** ▶ 3月 会員社との共同ホームページ「Japan Music」開設

- できごと** ▶ 関係10団体、カラオケ教室不法録音物対策委員会設立
▶ IFPIが世界音楽売上統計を開始

- NEWS** ▶ 「京セラドーム大阪」「ナゴヤドーム」「さいたまスーパーアリーナ」「東京国際フォーラム」などの施設が完成
▶ 消費税が5%に
▶ 流行語大賞:失楽園(する)

平成10年 | 1998

第13回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 B'z
洋楽 セリーヌ・ディオーン
新人 Kiroro/浜崎あゆみ/Misia/モーニング娘。/ゆず

- RIAJ** ▶ 4月 池口会長就任(K)

- できごと** ▶ 改正著作権法施行、送信可能化権が実演家とレコード製作者に付与
▶ 生産実績金額過去最高(6,075億円)

- NEWS** ▶ オリンピック冬季競技大会が長野で開催
▶ Google社設立
▶ Microsoft「Windows 98」日本版発売
▶ 郵便番号が7桁に
▶ 映画(興行収入1位):『タイタニック』

平成のディーヴァたち

1990年代末から、クラブカルチャーの盛り上がりと連動する形で登場したR&Bをルーツとする“ディーヴァ(歌姫)”がトレンドとなった。その代表格MISIAは平成10年の『Mother Father Brother Sister』を皮切りにダブル・ミリオン(※)の大ヒットアルバムを平成14年までに4作発表。このムーブメントからは小柳ゆき、birdらも人気者となり、2000年代半ばからのAI、JUJUらのブレイクへとつながった。またR&B系ディーヴァ以外にもCocco、UAなどが活躍。これら女性シンガーの台頭は、宇多田ヒカル、椎名林檎、浜崎あゆみ、aikoら平成10年デビュー組ともリンクしていた。※ミリオンは100万枚以上のセールス認定



『Mother Father Brother Sister』
MISIA

平成11年 | 1999

第14回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 宇多田ヒカル
- 洋楽 セリーヌ・ディオーン
- 新人 小柳ゆき/SNAIL RAMP/太陽とシスコムーン/Tina/bird

- RIAJ**
- ▶ 1月 ミュージック・ジェイシス協議会設立
 - ▶ 3月 『だんご3兄弟』邦盤シングル初の3ミリオン認定
 - ▶ 9月 宇多田ヒカル『First Love』が8ミリオン認定

- できごと**
- ▶ DVDオーディオ、SACD登場

- NEWS**
- ▶ 日本の著作権法施行100周年
 - ▶ NTTドコモ「iモード」サービス開始
 - ▶ ネット掲示板「2ちゃんねる」開設
 - ▶ 年末に2000年問題が話題に
 - ▶ ベストセラー：『五体不満足』（乙武洋匡著）

ミュージック・ジェイシス協議会

「ミュージック・ジェイシス Music・J-CIS (MINC)」は、一般社団法人日本音楽著作権協会 (JASRAC)、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 (芸団協)、および当協会の3団体によって平成11年1月に設立。音楽情報総合ポータルサイト「Music Forest」を開設。

平成12年 | 2000

第15回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 浜崎あゆみ
- 洋楽 ザ・ビートルズ
- 新人 愛内 里菜/花*花/矢井田 瞳/RIZE/LOVE PSYCHEDELICO

- RIAJ**
- ▶ 4月 富塚会長就任(V)

- できごと**
- ▶ 株式会社イーライセンス設立
 - ▶ 株式会社ジャパン・ライツ・クリアランス設立
 - ▶ 株式会社ジャパンミュージックデータ(jmd)設立
 - ▶ ビートルズのベストアルバム『ザ・ビートルズ1』世界同時発売

- NEWS**
- ▶ J-フォンが世界初カメラ付携帯発売
 - ▶ Amazon日本版サービス開始
 - ▶ 2000円札発行
 - ▶ 九州・沖縄サミット開催、安室奈美恵「NEVER END」がイメージソングに
 - ▶ 流行語大賞：おっはー

多様なコンピレーション・アルバム

平成の音楽産業における“ヒットの手法”の一つ、コンピレーション・アルバム。多様なコンセプトを切り口に、いろいろな曲を聞くことができる“勝手のよさ”が受けるとともに、未知の楽曲を知るガイドとなった。クラブミュージックでは、1990年代初頭に『SUPER EUROBEAT』シリーズが“お立ち台”で一世を風靡したディスコ・ジュリアナ東京の喧騒を後押し。シーンの隆盛とともに多くのコンピが発売されてゆく。また1990年代半ばには、洋楽のビッグアーティストの代表曲を網羅した『NOW!』や『MAX』シリーズからミリオンヒットが生まれ、2000年代初頭には“癒やしブーム”をつかんだイージーリスニングの『feel』シリーズ、『image』がミリオン。洋楽ラブソング集の『kiss』、当時の35歳世代が親しんだ楽曲を収録した『R35』シリーズからもミリオンが誕生した。ほかにもカフェブームに乗ったフリー・ソウルやボサノバコンピも人気となった。



「R35 Sweet J-Ballads」V.A.

平成13年 | 2001

第16回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 浜崎あゆみ
- 洋楽 BACKSTREET BOYS
- 新人 w-inds./コブクロ/ZONE/中島美嘉/松浦亜弥

- RIAJ**
- ▶ 7月 本誌「THE RECORD」が創刊500号を達成
 - ▶ 11月 インターネットによる「新品CD大ディスカウントフェア～レコードファン感謝祭2001 盤盤特別謝恩セール～」開始

- できごと**
- ▶ アップル社「iPod」発売
 - ▶ 著作権等管理事業法施行
 - ▶ レーベルモバイル株式会社(現レコチョク)設立

- NEWS**
- ▶ 『千と千尋の神隠し』が興行収入・動員で日本新記録樹立
 - ▶ 「Suica」サービス開始
 - ▶ 「ユニバーサルスタジオジャパン」「東京ディズニーシー」開業
 - ▶ アメリカ同時多発テロ勃発
 - ▶ ベストセラー：『チーズはどこへ消えた?』（スペンサー・ジョンソン著/門田美鈴訳）

平成14年 | 2002

第17回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 宇多田ヒカル
- 洋楽 アヴリル・ラヴィーン
- 新人 ACIDMAN/YeLLow Generation/orange pekoe/氣志團/柴矢裕美/day after tomorrow/元ちとせ/一青窈/PE'Z/MINMI

- RIAJ**
- ▶ 3月 複製制御(コピーコントロール)CD表示・運用基準を制定
 - ▶ 9月 「Respect Our Music」キャンペーン開始

- できごと**
- ▶ 指揮者の小澤征爾がウィーン国立歌劇場音楽監督に就任
 - ▶ au「着うた®」サービス開始

- NEWS**
- ▶ プロバイダ責任制限法施行
 - ▶ サッカー「日韓W杯」開催
 - ▶ 「相棒」連続ドラマで放送開始
 - ▶ 映画(興行収入1位)：『ハリリー・ポッターと賢者の石』

平成15年 | 2003

第18回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 浜崎あゆみ
- 洋楽 女子十二楽坊
- 新人 I WISH/ASIAN KUNG-FU GENERATION/175R/ORANGE RANGE/SOUL'd OUT/玉置成実/林明日香/HALCALI/FLOW/光永亮太

- RIAJ**
- ▶ 3月 依田会長就任(AVT)
 - ▶ 10月 JASRAC EDIスタート
 - ▶ 11月 全国公私立大学1,200校宛にLAN利用に関する協力要請文書発信

- できごと**
- ▶ IFPI「PRO-MUSIC」サイト立ち上げ
 - ▶ 知的財産基本法施行
 - ▶ ファイル交換ソフト利用の著作権侵害で初の刑事処分

- NEWS**
- ▶ 六本木ヒルズオープン
 - ▶ 「冬のソナタ」がヒット

- ▶ 第65代横綱貴乃花引退、モンゴル出身初の第68代横綱朝青龍が誕生
- ▶ ベストセラー：『バカの壁』（養老孟司著）

🔪 K-POPシーンの潮流

平成15年にオンエアされたドラマ『冬のソナタ』が、Ryuの歌うテーマ曲「Moment／最初から今まで」とともに大ヒット。韓流ブームを起こすなか、音楽シーンでは同年、BoAのアルバム『VALENTI』がミリオンを達成し、日本におけるK-POPの萌芽となった。その後平成22年には東方神起がダブル・プラチナ、平成24年にはKARAがトリプル・プラチナをアルバムで達成。少女時代は第25回日本ゴールドディスク大賞・新人賞に選ばれるなどK-POPは一大潮流を形成する。この躍進は今も衰えず、BIGBANGの上陸を挟み、BTS(防弾少年団)、日本人メンバー3人を含むTWICE、AKB48グループから選ばれた3名が属する日韓合同グループIZ*ONEなどが日本でも活躍中。

平成16年 | 2004

第19回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽** ORANGE RANGE
- 洋楽** QUEEN
- 新人** 安良城紅／北山たけし／木村カエラ／ジャパハリネット／JINDOU／TiA／波田陽区／矢野絢子／リュ・シウォン／Rin*

- RIAJ** ▶ 7月 事務所を北青山に移転
- ▶ 9月 佐藤会長就任(PC)
- ▶ 10月 第1回東京アジア・ミュージックマーケット(現TIMM)開催

できごと ▶ au「着うたフル®」サービス開始

- NEWS** ▶ 自衛隊イラク派遣開始
- ▶ 「Facebook」サービス開始(日本語版は平成20年～)
- ▶ 「mixi」サービス開始
- ▶ アテネ五輪、日本メダルラッシュ(37個)
- ▶ 新潟県中越地震発生
- ▶ 千円、五千円、一万円の新紙幣発行。千円札は野口英世、五千円札は樋口一葉に
- ▶ 「楽天」「ソフトバンク」プロ野球参入
- ▶ 「PlayStation Portable(PSP)」「ニンテンドーDS」発売
- ▶ 流行語大賞：「チョー気持ちいい」

平成17年 | 2005

第20回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽** 倅田來未
- 洋楽** O-ZONE
- 新人** 伊藤由奈／岩崎貴文／UVERworld／Mi(エムアイ)／K／高橋瞳／塚地武雄、堤下敦、梶原雄太／DEPAPEPE／トンガリキッズ／HIGH and MIGHTY COLOR／YUI／WaT

- RIAJ** ▶ 3月 中国オーディオ・ビデオ・インターネット配給総合展示会に出展
- ▶ 8月 音楽配信売上公表開始
- ▶ 11月 オランダのレコード権利集中管理団体(SENA)と相互管理協定締結

できごと ▶ 「音楽レコードの還流防止措置」を導入する著作権法改正法が施行

▶ iTunes Storeが日本国内でDL販売を開始

NEWS ▶ 「YouTube」サービス開始(日本語版は平成19年～)

- ▶ 愛知万博開催
- ▶ 「クールビズ」スタート
- ▶ つくばエクスプレス開業
- ▶ 日本の総人口が初めて減少
- ▶ 映画(興行収入1位)：『ハウルの動く城』

平成18年 | 2006

第21回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽** 倅田來未
- 洋楽** タニエル・パウター
- 新人** 絢香

- RIAJ** ▶ 9月 「Respect Our Musicモバイル」オープン
- ▶ 9月 音楽配信月間チャート・月次認定公表開始
- ▶ 10月 放送番組のネット利用に係る集中管理事業を開始
- ▶ 11月 「音楽の不正アップロード防止キャンペーン」を開始
- ▶ 11月 中国・北京で「日中音楽産業発展フォーラム」開催

できごと ▶ ジェームス・ブラウン逝去

- NEWS** ▶ 「Twitter」サービス開始(日本語版は平成20年～)
- ▶ 「ニコニコ動画」サービス開始
- ▶ ワールド・ベースボール・クラシックで日本が初代王者に
- ▶ 表参道ヒルズ開業
- ▶ 「Wii」「プレイステーション3」発売
- ▶ 流行語大賞：イナバウアー

平成19年 | 2007

第22回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽** EXILE
- 洋楽** アヴリル・ラヴィーン
- 新人** GReeeeN

- RIAJ** ▶ 1月 違法な携帯電話向け音楽配信利用実態調査開始
- ▶ 3月 日本音楽の中国における権利認証機関として認可
- ▶ 7月 石坂会長就任(UM)

できごと ▶ 「ZARD」ボーカル坂井泉水逝去

- NEWS** ▶ アップル社「iPhone」発売(日本は平成20年～)
- ▶ 「hulu」サービス開始(日本語版は平成23年～)
- ▶ 「みどりの日」(4/29)が「昭和の日」に
- ▶ 東京ミッドタウン・新丸ビル開業
- ▶ 郵政民営化
- ▶ ビリーズブートキャンプブーム

平成20年 | 2008

第23回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽** EXILE
- 洋楽** マドンナ
- 新人** 羞恥心

- RIAJ** ▶ 2月 「エルマーク(R)」を制定、運用開始
- ▶ 6月 日本音楽情報のポータルサイト「日本音楽倶楽快線」開設

できごと ▶ 「Spotify」スウェーデンでサービス開始(日本は平成28年～)

- NEWS** ▶ 観光庁設置
- ▶ 赤坂サカス開業
- ▶ 米リーマン・ブラザーズが破綻(リーマン・ショック)
- ▶ 流行語大賞：「アラフォー」



平成21年 | 2009

第24回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 嵐
- 洋楽 ザ・ビートルズ
- 新人 Hilcrhyme

- RIAJ**
- ▶ 2月 「Happy Music Cycleキャンペーン」開始
 - ▶ 3月 「エルマーク(R)」、映画・アニメ映像配信サイトでも表示を開始
 - ▶ 4月 「着うたフル(R)」ウィークリーチャート公表開始

- できごと**
- ▶ 音楽配信売上金額過去最高(910億円)
 - ▶ マイケル・ジャクソン逝去
 - ▶ 一般社団法人著作権情報集中処理機構(CDC)設立

- NEWS**
- ▶ 米国オバマ大統領就任
 - ▶ 裁判員制度スタート
 - ▶ ベストセラー:『1Q84 (1・2)』(村上春樹著)

平成22年 | 2010

第25回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 嵐
- 洋楽 レディー・ガガ
- 新人 少女時代

- RIAJ**
- ▶ 1月 著作権法の一部を改正する法律施行(ダウンロード違法化)
 - ▶ 4月 一般社団法人へ移行
 - ▶ 11月 Blu-ray Disc™ の表示に関する運用基準制定

- できごと**
- ▶ HMV渋谷閉店

- NEWS**
- ▶ ゆるキャラグランプリ開始
 - ▶ 電子書籍が普及
 - ▶ アップル「iPad」発売
 - ▶ 映画(興行収入1位):『アバター』

平成23年 | 2011

第26回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 AKB48
- 洋楽 レディー・ガガ
- 新人 Kis-My-Ft2

- RIAJ**
- ▶ 5月 北川会長就任(SME)
 - ▶ 7月 事務所を虎ノ門に移転
 - ▶ 9月 「ミュージック・ジャケット大賞」を制定
 - ▶ 9月 ラブ&ハーモニー基金主催の慰問公演にてレコード寄贈贈呈式を実施



- できごと**
- ▶ 「WAVE」全店舗閉店

- NEWS**
- ▶ 「LINE」サービス開始
 - ▶ 東日本大震災発生
 - ▶ FIFA女子W杯ドイツ大会で「なでしこジャパン」初優勝
 - ▶ 地上波テレビアナログ放送終了
 - ▶ アップルのスティーブ・ジョブズ会長逝去
 - ▶ パナソニック、VHSビデオ対応機の生産終了

平成24年 | 2012

第27回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 AKB48
- 洋楽 シエネル
- 新人 乃木坂46

- RIAJ**
- ▶ 1月 特別功労者表彰、理事功労者表彰を実施
 - ▶ 6月 レコード寄贈事業が実施50回を迎える
 - ▶ 9月 「第1回音のサロン」開催
 - ▶ 10月 著作権法の一部を改正する法律施行(違法ダウンロード刑事罰化)
 - ▶ 10月 「東日本大震災復興祭2011～子供たちの未来のために～」開催
 - ▶ 10月 福島県文化センターにてレコード寄贈贈呈式を実施
 - ▶ 12月 新たな3種類のエルマークを作成



- できごと**
- ▶ ホイットニー・ヒューストン逝去
- NEWS**
- ▶ 東京スカイツリー開業
 - ▶ 国内初の格安航空会社(LCC)が就航
 - ▶ 映画(興行収入1位):『BRAVE HEARTS 海猿』

平成25年 | 2013

第28回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 AKB48
- 洋楽 ONE DIRECTION
- 新人 クリス・ハート

- RIAJ**
- ▶ 4月 著作権保護・促進センター(CPPC)新設
 - ▶ 6月 斉藤会長就任(V)
 - ▶ 8月 岩手県陸前高田市立図書館にてレコード寄贈贈呈式を実施
 - ▶ 11月 「J-Music LAB」インドネシア・ジャカルタで実施

- できごと**
- ▶ 藤圭子逝去
 - ▶ 一般社団法人音楽特定利用促進機構(ISUM)設立



- NEWS**
- ▶ 富士山が世界文化遺産登録
 - ▶ 銀座・歌舞伎座新開場
 - ▶ 2020年夏季五輪開催地が東京に決定
 - ▶ 映画(興行収入1位):『風立ちぬ』

平成26年 | 2014

第29回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽 嵐
- 洋楽 ワン・ダイレクション
- 新人 ジャニーズWEST

- RIAJ**
- ▶ 2月 「GOLD DISC FESTIVAL」開催



- ▶ 8月 「J-Music LAB 2014」インドネシア大学「Gelar Jepang」で実施
- ▶ 11月 「J-Music LAB 2014 in Hai Day」インドネシア・ジャカルタで実施

- できごと**
- ▶宝塚歌劇創立100周年
 - ▶映画『アナと雪の女王』サントラもヒット

- NEWS**
- ▶ソチ冬季五輪で男子フィギュアスケートの羽生結弦がアジア人男子初の金メダル
 - ▶「笑っていいとも!」放送終了
 - ▶消費税8%に
 - ▶虎ノ門ヒルズ開業
 - ▶流行語大賞:ダメよ〜ダメダメ

アイドルブームの復活

1980年代のアイドル全盛期に陰りが見える平成元年、Winkが「淋しい熱帯魚」で『輝く!日本レコード大賞』大賞を受賞。しかし“平成最初のアイドル・Wink”以降は、森高千里らの奮闘はあったものの、CDセールス的にはアイドル冬の時代が続く。そこに風穴を開けたのが平成12年に「LOVEマシーン」を大ヒットさせたモーニング娘。だった。つくくがプロデュースした歌って踊れる“アイドルグループ”というコンセプトはアイドルを復活させた。平成18年には秋元康プロデュースのAKB48がメジャーデビュー。その人気は社会現象となりAKB48グループとして発展。女性アイドルグループはブームとなった。また嵐などのジャニーズ事務所所属の男性アイドルグループは根強い人気を誇り、平成後半のヒットチャート上位はAKB48グループとジャニーズ勢が占めた。

平成27年 | 2015

第30回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽** 嵐
- 洋楽** ザ・ビートルズ
- 新人** [Alexandros]

- RIAJ**
- ▶2月 「Coming Next 2015」開催
 - ▶8月 気仙沼・南相馬の臨時災害放送局にて門倉有希さん、熊谷育美さん慰問・レコード寄贈贈呈式を実施
 - ▶11月 「J-Music LAB 2015 in Bangkok」開催



- できごと**
- ▶ベン・E・キング逝去
 - ▶B.B.キング逝去

- NEWS**
- ▶有料動画配信サービス「Netflix」日本上陸
 - ▶ベストセラー:『火花』(又吉直樹著)

平成28年 | 2016

第31回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽** 嵐
- 洋楽** アリアナ・グランデ
- 新人** 樺坂46

- RIAJ**
- ▶1月 「J-Music LAB 2016 in Taipei」開催
 - ▶2月 「Coming Next 2016」開催
 - ▶8月 熊本県御船町・益城町にて原田悠里さん慰問公演、臨時災害FM局にて寄贈贈呈式を実施

- できごと**
- ▶プリンス逝去
 - ▶デヴィッド・ボウイ逝去
 - ▶イーライセンス、ジャパン・ライツ・クリアランスが合併・事業統合、株式会社NexToneに
 - ▶新星堂がワンダーコーポレーションと合併

- NEWS**
- ▶熊本地震発生
 - ▶マイナンバー制度開始
 - ▶『ポケモンGO』サービス開始

- ▶映画『君の名は。』『シン・ゴジラ』『この世界の片隅に』がヒット
- ▶流行語大賞:「神ってる」

平成29年 | 2017

第32回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽** 安室奈美恵
- 洋楽** ザ・ビートルズ
- 新人** NGT48

- RIAJ**
- ▶3月 「Coming Next 2017」開催
 - ▶4月 創立75周年
 - ▶6月 重村会長就任(K)
 - ▶7月 音楽ナタリー特集「Coming Next Artists」開始



- できごと**
- ▶アナログディスク国内生産数が16年振りに100万枚をこえる
 - ▶安室奈美恵『Finally』が13年7か月ぶりにアルバム初週でミリオンセールス達成
 - ▶AIスピーカー「Google Home」「Amazon Echo」が日本発売

- NEWS**
- ▶米国トランプ大統領就任
 - ▶プレミアムフライデー開始
 - ▶平成29年7月九州北部豪雨
 - ▶流行語大賞:「インスタ映え」

平成30年 | 2018

第33回日本ゴールドディスク大賞

- 邦楽** 安室奈美恵
- 洋楽** クイーン
- 新人** King & Prince

- RIAJ**
- ▶4月 米津玄師「Lemon」シングルトラック最速ミリオン認定(2014年有料音楽配信認定基準改定以降)
 - ▶8月 安室奈美恵「namie amuro Final Tour 2018 ~Finally~」が初の音楽ビデオミリオン認定
 - ▶10月 「SHIBUYA MUSIC WEEK」開催

- できごと**
- ▶西城秀樹逝去

- NEWS**
- ▶北海道胆振東部地震発生
 - ▶一般社団法人日本eスポーツ連合発足
 - ▶東京ミッドタウン日比谷開業
 - ▶平成30年7月豪雨
 - ▶映画(興行収入1位):『ボヘミアン・ラブソディ』



日本ゴールドディスク大賞



- 邦楽** 本特集では、対象期間中の作品・楽曲の正味売上金額合計が最も多いアーティストが受賞する「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」の邦楽・洋楽の各部門を紹介。
- 洋楽**
- 新人** 本特集では、対象期間中にデビューしたアーティストで、作品・楽曲の正味売上金額の合計が最も多い「ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー」のうち邦楽アーティストを紹介。

※日本ゴールドディスク大賞「ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー(邦楽)」は、第12~16回については5組、第17~20回については10組が選出された。

※日本ゴールドディスク大賞の各回対象期間は以下のとおり。

第13回:1月21日~翌年1月20日	第25回:1月1日~10月31日
第14回:1月21日~翌年1月31日	第26~27回:11月1日~翌年10月31日
第15~17回:2月1日~翌年1月31日	第28回:11月1日~翌年12月31日
第18~24回:1月1日~12月31日	第29~33回:1月1日~12月31日

第85回RIAJセミナー「新入社員合同研修会・懇親会」開催

4月12日、東京都港区の共同通信会館会議室において、当協会会員社の新入社員を対象とするRIAJセミナーが開催された。

約100名が参加した第一部の研修会では、冒頭、当協会畑理事から挨拶があり、続いて、企画・広報部 松下部員による「レコード業界について」、著作権・契約部 西村部員による「レコード会社と著作権」、著作権保護・促進センター(CPPC) 荒部員による「日本レコード協会の違法対策」をテーマとした講義が行われた。

研修会終了後の懇親会では、フレッシュな新人を前に、当協会 重村会長より激励の言葉とともに乾杯の挨拶がなされた。その後、各社ごとの個性あふれる自己紹介スピーチ・パフォーマンスが行われた。各社一層仲を深めた歓談の時間の後、日本コロムビア株式会社 人事部 小澤部長より熱いエールが送られ、閉会となった。



研修会の様子



日本コロムビア株式会社



株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント



キングレコード株式会社



株式会社ライオンエンターテイメント



日本クラウン株式会社



株式会社ユニバーサルエンターテインメント株式会社



株式会社ハップ



株式会社ビーイング



エイペックス・エンタテインメント株式会社



株式会社バンダイナムコアーツ/
株式会社ハイウェイスター



株式会社エルデーアンドケイ



株式会社キッス・エンタテインメント

合同研修会を終えた新入社員に対してアンケートを行った。回答の一部を紹介する。

レコード業界(会社)への志望動機

- 自分の好きな音楽の魅力をもっと広めたいと思っているから。世の中のもっと多くの人がある人なりの「音楽の接し方」を自由に考え、見つけ、楽しめる環境にする仕事がしたい。また、アナログレコード、カセットなどのフィジカルを、より一層なじみのあるものにするための文化や価値観の醸成をすると同時にデジタル市場も拡大するような施策も行いたい。
- 「NO MOREガラパゴス」。アジア、ワールドに響くHIPHOPのエッセンスを持った言葉で音楽で日本のトップチャートを埋め尽くしたい。実際に8年間HIPHOPプロデューサーとして地下の現場に立ち続けていたが、その景色の中にある輝くものをPOPに落とし込み、大衆に広めたい。そのためにアーティストという立場ではなく、A&Rという立場で景色を変えたい。
- 人を楽しませるコンテンツを「ジャンル」や「概念」にとらわれずに日本から世界へ発信し、エンターテインメントの力をより強く広げたいと思ったから。
- 音楽を通して、人々の価値観を受け入れ、塗り変えたいから。大学時代に海外で生活した経験を活かし、仕事を通じて日本と海外を結ぶ手助けがしたかったから。



会長挨拶

研修会感想

1.レコード業界について

- レコード業界の歴史について学ぶことができた。時代の流れとともに形を変えながら広がり続ける音楽業界に携わることができることにとても期待が膨らんだ。
- 日本市場の特性として「CD売り上げが落ちている→レコード業界売り上げ不振」という印象が大きい。しかしストリーミング売り上げの上昇等の様々な要因から、そこまで不振ではないと考える。むしろこれから売り上げは上がると考える。
- 改めて世界規模で見た時の日本のパッケージ市場の大きさに驚いた。このままパッケージビジネスは守りつつ、両軸でストリーミングなどの新しいサービスの展開に注力していくことにチャンスを感じている。音楽の畑のみでとどまらず、今後さらに他業界と音楽を掛け合わせて大きなビジネスにできると確信している。
- ここ数年でレコード業界は急速に変化を遂げており、既存のプラットフォームやデバイスが残りは続けるとは限らない。その中で私たちが考えなければならないのは、変化に対してどうアプローチしていくかだと改めて感じた。日本人の文化を見つめることを忘れずに柔軟に対応していく必要があると思う。

2.レコード会社と著作権

- 著作権については、現場に配属されてからはアーティストを守るため、会社を守るために必要な知識であると改めて思った。

- エンターテインメントと著作権は切ってもきれないほど密接に関わっており、非常に参考になった。
- 著作権を扱う立場になるにあたり、基本的な部分でも全然知らないことが多かったので、非常に勉強になることが多かった。また、時代に合わせて法律は変わり続けているので、そのような部分も今後しっかり注目しなければならないと思った。
- 保護期間が50年から70年に変わっていたことを今日知った。著作権に関してはわからないことが多く、この業界で仕事をしていく上でさらに勉強しなくてはいけないと感じた。
- 音楽を守るための法律がたくさんあり、一見著作権を侵害していないと思ったことでも、実際はNGだったりすることがあると気付いた。クイズでより一層理解を深めることができた。
- 私たちは著作隣接権を最大化し、ビジネスを広げていくということを改めて理解した。

3.日本レコード協会の違法対策

- システムだけではなく、人の目視で違法ファイルを探していると聞き、非常に驚いた。違法アプリは使ったことがなかったけれど、割と利用している人が多いことを知り、対策は非常に大切だと感じた。
- RIAJが違法ファイルを削除要請した件数が年間約53万件だと聞き驚いた。無料で聴くことができる、違法だと思われるアプリが、法律上は「違法ではない」ことは、違法がなくなることを阻害していると思った。
- 違法ファイル削除要請件数の多さは驚異的だった。この原因は一体何だったのかが気になる。ダンサーの友人がinstagramやtwitterにアップロードした動画が削除されるケースを目にすることが増えたと感じていたが、ほとんどが違法だと分かっていないからではないかと考える。違法ファイルのアップロードに関しては、システムを使用して、違法行為が発生する前に防ぐことができるのではないかと思う。
- YouTubeやSoundCloudは、日本国内でもアーティストがプロモーションや腕試しで使うこともあるので、一概にだめとは言えない。消費者たちが「なぜ」使うのか、「なぜ」有害なのかを伝えることが、私たちレコード会社の担うべき役割だと思った。

その他

- 同じ業界の同期のみなさんとこのように学習できる場はとても良い機会だと感じた。本日学んだ3つのトピック内にそれぞれ新しく知る情報があり、参加できて良かった。
- 権利ビジネスや違法対策について知識のない人にでもわかりやすい説明だったのでためになった。
- 非常にためになる情報が多く、今後の業務に活かしていきたいと思った。音楽に対してしっかりと世の中の人々がお金を払いたい!と思ってもらえるような作品作り、環境作りをし、業界のブランド力を高めたいと思った。



懇親会

香港アジア・ポップミュージックフェスティバル2019開催 日本からはGACKT、新人アーティストの西沢幸奏がパフォーマンスを披露

3月22日、香港のランドマークとして知られる香港コンベンションセンター（HKCEC）にて「香港アジア・ポップミュージックフェスティバル（HKAMF）2019」が開催された。HKAMFは、香港政府の支援のもと国際レコード産業連盟（IFPI）香港グループが「Music in One Asia +」をテーマに2011年から毎年主催するイベント。今回はアジア9カ国・地域（日本、中国、韓国、マレーシア、シンガポール、タイ、台湾、ベトナム、香港）の音楽関係団体の協力により開催され、一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団（JMCE）と当協会も本イベントの趣旨に賛同し協力を行った。

同イベントでは各国・地域の新人アーティスト9組が参加し、「スーパーノヴァ賞」等を競うコンテストが開催され、海外でのライブ経験もある西沢幸奏が日本代表として力強いパフォーマンスを披露した。優勝は逃したものの、「ベストステージパフォーマンス賞」「ベストボーカルパフォーマンス賞」「トップビューアーズチョイス（人気投票）賞」の3つの賞を受賞するという快挙を達成した。西沢は、「ありがとうございます。これを機にアジアの国でもっとライブができれば嬉しいです」と感謝の言葉を述べた。

また、日本からのスターアーティストとして登場したのは、アジア圏で非常に高い人気を誇るGACKT。大きな声援の中、「GHOST」「REDEMPTION」「UNTIL THE LAST DAY」の3曲を披露し、圧巻のパフォーマンスに観客は魅了された。なお、当日の様子を収めた映像は、本フェスティバルの日本地域メディアパートナーであるニコニコ動画にて以下日時に放送予定。



▲観客を魅了する西沢幸奏



▲西沢幸奏は新人コンテストで三冠を受賞した

9カ国・地域の出演アーティスト

新人アーティスト

日 本：西沢幸奏
中 国：Liu Limin
韓 国：Stella Jang
マレーシア：Maria Effendi
シンガポール：Jermaine Leong
タ イ：The Rube
台 湾：#GBOYSWAG
香 港：Nowhere Boys
ベトナム：ORANGE

スターアーティスト

日 本：GACKT
韓 国：NCT127
中 国：Dean TING
香 港：Hins CHEUNG

審査員

日 本：starRo
中 国：Shen Lihui
韓 国：SohnPD
マレーシア：Ciang Teng
シンガポール：Colin Goh
タ イ：KRIS P
台 湾：Ting Hsiao
香 港：Chen Shao Qi
ベトナム：Huy Tuan

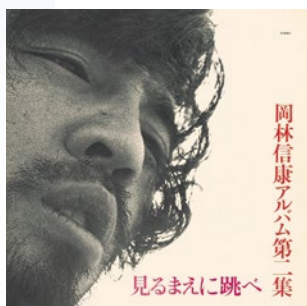
※敬称略

放送スケジュール 5月12日（日） 21:00~24:00

▼ライブ会場



私わたし の season2 一枚いちまい



岡林信康
「見る前に跳べ」

子供の頃からいつも音楽がそばにありました。小学生の頃からラジオで音楽番組を耳をそばだてて聴きまくりました。S盤アワー、L盤アワー、P盤アワー、そして『ユアヒットパレード』などなど。今で言う“オールディーズ”から当時ランキングの主流であった映画音楽などを好んで聴いていました。インストルメンタルが今も好きなのはこの頃染みついたのでしょう。TVが観られるようになってからはテレビの音楽番組も加わります。『ザ・ヒットパレード』、『シャボン玉ホリデー』、『夢であいましょう』。こうした番組では洋楽カバーが大好きでした。クラシックもステレオを買った時に色々聴きまくりました。ある時、いつものようにラジオを聴いていると、突如流れてきた今までに聴いたことのない音楽に出会います。激しいリズムにこれまでとは違う歌い方のボーカルとハーモニー、またこれまでとは違うギター、ベース、ドラムだけの演奏、それがThe Beatlesの「プリーズ・プリーズ・ミー」であり「シー・ラブス・ユー」であり「抱きしめたい」などでした。一気にはまりました。これがさらにUKロック、USロックへと興味は広がります。一方で高校時代、民俗音楽研究会（軽音楽部ですね）に入ってそこで一年生のメンバーでブルークラスバンドから入りました。2年になって今度はフォークソングに転向。PPMのコピーバンドを始めます。フォークを聴くようになってボブ・ディランに出会います。合わせて日本のフォークカ



坂本 健
株式会社ハツアンリミテッド
代表取締役社長

らニューミュージックへと広がっていきました。さて本題の「わたしの一枚」です。The Beatlesはじめレコードアルバムを聴いてきた中で「あれ？なんか変わった!」と感じた一枚が『リボルバー』でした。そして次の『サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド』でアルバムとしてひっくり返るような音楽革命が起こったと感じました。わたしの音楽シーンの中での「わたしの一枚」これになると思います。まさにプログレッシブな一枚です。

しかし今回改めて「わたしの一枚」は何だろう、と考えていくうちに行き着いたのは岡林信康の『見る前に跳べ』です。このアルバムの中の「私たちの望むものは」という曲は「私」という人間の根底に刺さった曲とっていいと思います。

この曲に出会ったのはちょうど20歳の時。この曲の

私たちの望むものは くりかえすことではなく
私たちの望むものは たえず変わってゆく ことなのだ

私たちの望むものは 決して私たちではなく
私たちの望むものは 私でありつづける ことなのだ

今ある不幸に とどまってはならない
まだ見ぬ幸せに 今跳び立つのだ

という一節は初めて聴いた時体が震えたことを思い出します。

中学も高校も一学年50人のクラスが8クラスという時代（現在は私の卒業した中学は一学年が150人ほどだそうです）。いわゆる団塊の世代。何かにつけ「君たちは」「みなさんは」と言われてきた世代。平均的であること、皆と同じであることが求められていた気がしてモヤモヤしていた頃です。

個の相互承認の上で個を活かすこと、そして個の成長あってこそその全体、という潜在的意識が顕在化した瞬間でした。この一節は私の座右の銘とも言えるものとなりました。

JASRAC 出1904153-901

Monthly Production Report 2019年3月度レコード生産実績

3月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比84%の1,485万枚・巻、金額で同79%の194億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比90%の1,146万枚・巻、金額で同86%の124億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比67%の340万枚・巻、金額で同70%の69億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	3月実績						2019年1月~2019年3月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
8cmCD シングル	邦	1	0	13%	1	0	13%	4	0	44%	3	0	40%
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	計	1	0	13%	1	0	13%	4	0	44%	3	0	40%
12cmCD シングル	邦	4,585	40	101%	3,545	28	99%	11,120	36	92%	9,294	26	95%
	洋	240	2	8130%	153	1	6039%	242	1	2179%	154	0	1714%
	計	4,825	42	106%	3,698	30	103%	11,362	37	94%	9,449	26	97%
シングル 計	邦	4,586	40	101%	3,545	28	99%	11,124	36	92%	9,297	26	95%
	洋	240	2	8130%	153	1	6039%	242	1	2179%	154	0	1714%
	計	4,826	42	106%	3,699	30	103%	11,366	37	94%	9,451	26	97%
12cmCD アルバム	邦	5,455	48	86%	7,389	59	84%	15,998	52	97%	22,168	62	100%
	洋	963	8	63%	1,000	8	64%	3,202	10	85%	3,307	9	85%
	計	6,418	56	82%	8,389	67	81%	19,200	62	95%	25,475	71	97%
CD計	邦	10,041	88	92%	10,934	88	88%	27,123	87	95%	31,465	88	98%
	洋	1,204	11	78%	1,153	9	73%	3,443	11	92%	3,461	10	88%
	計	11,244	98	91%	12,087	97	86%	30,566	98	95%	34,926	98	97%
アナログ ディスク	邦	85	1	65%	150	1	56%	148	0	83%	278	1	79%
	洋	48	0	94%	99	1	107%	112	0	113%	220	1	123%
	計	133	1	73%	249	2	69%	261	1	93%	497	1	94%
カセット テープ	邦	27	0	47%	21	0	48%	123	0	92%	106	0	97%
	洋	0	0	24%	0	0	16%	0	0	21%	0	0	16%
	計	27	0	47%	22	0	47%	123	0	91%	106	0	97%
その他	邦	13	0	74%	23	0	92%	30	0	107%	53	0	119%
	洋	39	0	90%	61	0	65%	68	0	92%	124	0	80%
	計	52	0	85%	84	1	71%	98	0	96%	177	0	88%
合計	邦	10,165	89	92%	11,129	89	87%	27,424	88	95%	31,901	89	98%
	洋	1,291	11	79%	1,313	11	75%	3,624	12	92%	3,805	11	89%
	計	11,456	100	90%	12,442	100	86%	31,048	100	95%	35,706	100	97%

音楽ビデオ

	3月実績						2019年1月~2019年3月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	1,960	58	54%	2,832	41	54%	7,184	65	74%	9,355	47	75%
	洋	50	1	100%	136	2	292%	237	2	221%	430	2	329%
	計	2,010	59	55%	2,967	43	56%	7,421	67	75%	9,785	49	77%
ブルーレイ ディスク	邦	1,347	40	102%	3,792	55	83%	3,621	33	123%	9,745	49	116%
	洋	40	1	87%	158	2	336%	91	1	139%	331	2	317%
	計	1,388	41	101%	3,950	57	86%	3,712	33	124%	10,077	51	119%
テープ・その他	邦	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
	洋	3,307	97	67%	6,623	96	68%	10,806	97	85%	19,101	96	92%
	計	3,398	100	67%	6,917	100	70%	11,134	100	87%	19,862	100	94%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	3月実績						2019年1月~2019年3月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオレコード計	11,456	77	90%	12,442	64	86%	31,048	74	95%	35,706	64	97%	
音楽ビデオ計	3,398	23	67%	6,917	36	70%	11,134	26	87%	19,862	36	94%	
合計	邦	13,472	91	84%	17,752	92	79%	38,229	91	92%	51,002	92	95%
	洋	1,381	9	80%	1,607	8	87%	3,952	9	96%	4,566	8	102%
	計	14,854	100	84%	19,359	100	79%	42,181	100	92%	55,567	100	96%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	3月実績						2019年1月~2019年3月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	4,847	65	75%	6,183	46	68%	14,639	70	84%	18,019	49	82%
ブルーレイディスク	2,632	35	106%	7,329	54	86%	6,391	30	110%	18,807	51	104%
テープ・その他	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
合計	7,479	100	84%	13,512	100	77%	21,030	100	91%	36,827	100	92%

オーディオ/ビデオレコード合計

	3月実績						2019年1月~2019年3月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計	11,456	61	90%	12,442	48	86%	31,048	60	95%	35,706	49	97%
ビデオレコード計	7,479	39	84%	13,512	52	77%	21,030	40	91%	36,827	51	92%
合計	18,935	100	88%	25,954	100	81%	52,078	100	93%	72,532	100	94%

備考 1.本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
 2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
 3.オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

シングル | 邦楽

ミリオン	ジワるDAYS	AKB48	2019.03.13	キングレコード
ダブル・プラチナ	キュン	日向坂46	2019.03.27	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
プラチナ	YEAH YEAH YEAH / 憧れのStress-free / 花、闇の時	ハロプロ・オールスターズ	2018.09.26	アップフロントワークス(ゼティマ)
ゴールド	Yes we are	三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE	2019.03.13	エイベックス・エンタテインメント
	ebidence	BATTLE BOYS	2018.03.26	SDR
	有超天シューター	祭nine.	2019.03.20	テイチクエンタテインメント
	Shoot Out	MONSTA X	2019.03.27	ユニバーサル ミュージック

アルバム | 邦楽

プラチナ	#TWICE2	TWICE	2019.03.06	ワーナーミュージック・ジャパン
	MAGIC	back number	2019.03.27	ユニバーサル ミュージック
ゴールド	PAGES	Sexy Zone	2019.03.13	ポニーキャニオン
	The Champion / T.D.D LEGEND	ヒプノシスマイク -Division Rap Battle- (麻天狼・The Dirty Dawg)	2019.02.27	キングレコード

ビデオ | 邦楽

ゴールド	B'z LIVE-GYM Pleasure 2018 - HINOTORI -	B'z	2019.03.13	ピーイング
------	--	-----	------------	-------

※日付けは発売日

有料音楽配信

シングルトラック | 邦楽

ダブル・プラチナ	ワタリドリ	[ALEXANDROS]	2015.03.18	ユニバーサル ミュージック
プラチナ	君と羊と青	RADWIMPS	2011.03.09	ユニバーサル ミュージック
ゴールド	Wishing On The Same Star	安室 奈美恵	2002.09.11	エイベックス・エンタテインメント
	Wanna be now	板野 友美	2011.05.11	キングレコード
	消せない罪	北出 菜奈	2005.04.13	ソニー・ミュージックダイレクト
	白日	King Gnu	2019.02.22	ソニー・ミュージックレーベルズ(アリオラジャパン)
	逆光	坂本 真綾	2018.07.25	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
	帰り道は遠回りしたくなる	乃木坂46	2018.11.07	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
	HAPPY BIRTHDAY	back number	2019.02.19	ユニバーサル ミュージック
	不死鳥のフランメ	マリア×風鳴 翼 (CV:日笠 陽子×水樹 奈々)	2013.07.17	キングレコード
	inside you	milet	2019.02.07	ソニー・ミュージックレーベルズ(SMレコーズ)

シングルトラック | 洋楽

ゴールド	ワン・ラスト・タイム	アリアナ・グランデ	2014.08.27	ユニバーサル ミュージック
	ラベル・オア・ラヴ	ファーギー	2008.06.11	ユニバーサル ミュージック

※日付けは配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト(アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®, シングルトラック・アルバム) 共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位:音楽ソフト・枚、配信、DL(ダウンロード数)

備考 1. 着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

2. 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です
3. 3ミリオン以降、100万毎に認定

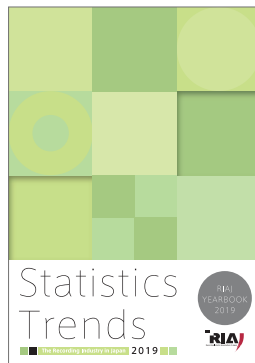
協会からのお知らせ

当協会は、「日本のレコード産業2019」の英語版である「RIAJ YEARBOOK 2019」を発行いたしました。本誌は、2018年のレコード産業の概要を網羅したA4版24ページの小冊子で、日本語版同様、レコードの生産実績、音楽配信売上、新譜・カタログ数、ミリオン認定などの情報を幅広く掲載しています。

本誌のPDF版については、当協会ホームページをご覧ください。

▶日本のレコード産業

<https://www.riaj.or.jp/f/e/issue/industry/>



編集後記

3月末に営業を終了したVR体験施設「VR ZONE SHINJUKU」に滑り込みで入場し、ゴジラ、エヴァといった話題のアクティビティを体感してきました。実際に自分の手を動かしてアイテムをキャッチ&プレイできるマリオカートVRにも感動しましたが、個人的には、スティック型コントローラーでオールを操作しながら仲間と協力して激流を進む「冒険川下りVRラピッドリバー」が最も没入感が高く、岩にぶつかったり、滝つぼに落ちる場面では思わず叫んでしまいました。来場者たちがヘッドマウントディスプレイを装着して各々の世界を楽しむ様子は、傍から見ても面白かったです。“VR元年”の2016年以降、音楽分野でもVRライブやカラオケVRなどが登場していますが、今後、令和時代を象徴するような新しい音楽体験が生み出されることを期待しています。(M)

THE RECORD No.714 2019年5月号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 重村 博文

編集人 原 康晴

発行日 2019年5月15日

発行 一般社団法人 日本レコード協会

〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階

TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313

URL:<https://www.riaj.or.jp/>

編集協力 株式会社金羊社 / ヤマトカウンシル



エルマークキャラクター

エルマーくん

■当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら

当協会公式サイト(URL:<https://www.riaj.or.jp/>)のお問い合わせページよりお寄せください。